

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 2025年2月10日					
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	職員討議	
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	2	規定に比べると、部屋数やスペースが広々としている印象がある。部屋の数が多いため、いろんな用途を工夫できる。	クールダウンしようと思うと、部屋が使われていることが多く難しい。2Fや空き部屋の活用がもう少し出来たらよいと思います。	空き部屋を活用しながらスペースを確保している。2Fの活用も検討していきたい。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11	1	プラスアルファとしての直接支援に入る送迎担当もいたり、と忙しい時間にはたくさんの職員を配置する工夫をする。	日によっては不足していると感じるときがある。(急な欠勤や放デイの顔ぶれによって)。利用者人数に対して規定は満たしているが、外出等で担当を割振ると手が足りなくなることがある。	送迎の関係で一定時間職員数が不足している部分もあるが、送迎担当職員を配置することで解決はかかっている。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	4		おもちゃの置き場所が分かりにくい。扉の開閉が危険な時がある。驚かすものや怖いものも存在している。扉を自由に開閉できてしまう点が心配。いきり閉めると危険を感じる。扉の開け閉めが危ない。危険を取り除く方がよい。施設内は段差が多い。手すりがあれば乗り換えやすくなる利用者もいると思う。		おもちゃをクローゼットの高い場所に置いているが、登って取ろうとする児童がいたりなど、危険な場面も見られる。対策を考えていく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	2		児童の平日は0番広い部屋が寒い。日の当たるところが暖房が直で当たるところならぬくぬい。		大きい部屋は扉がなく、床もフローリングなので冬の時期は冷えやすい。マット等の用意を検討していく。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11	2	基本的に用途に応じた部屋の使い方をしている。	0人になりたいときに部屋を確保するのが難しいときにはある→うらうらや洗面所のスペースの活用。部屋が少ないと感じることはある。(一人になりたいのになれない子が多い)。階段下の部屋の活用にももう少し工夫出来ないかなと思います。	1人になりたいときに部屋を確保するのが難しいときにはある→うらうらや洗面所のスペースの活用。部屋が少ないと感じることはある。(一人になりたいのになれない子が多い)。階段下の部屋の活用にももう少し工夫出来ないかなと思います。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	1	職員会議で出来る限り話し合いの場を設けている。	一部の職員さんはできていないと思う。	職員会議で出来る限り話し合いの場を設けている。送迎担当職員の参加はあまり出来ていない。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10		保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けて、その内容を業務改善につなげていきたい。		保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けて、その内容を業務改善につなげていきたいと思いたい。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	12	1	職員の意見等を把握する機会を設け、その内容を業務改善につなげていきたい。		職員の意見等を把握する機会を設け、その内容を業務改善につなげていきたいと思いたい。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	4	第三者による外部評価について、情報を集め、必要に応じて外部評価の実施を検討していきたい。		第三者による外部評価について、情報を集め、必要に応じて外部評価の実施を検討していきたいです。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	3	強度行動障害や感染症研修		姫路市主催の研修の案内も全職員に周知し、希望の有無を聞いている。研修の実施が勤務時間と重なっていることも多いので、難しい場合もあります。	
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11		適切に支援プログラムが作成、公表をしている。		今後も適切に支援プログラムが作成、公表をしていきたいと思いたい。	
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	12		個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している。		個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成していきたいと思いたい。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13		計画を立てる際には日ごろのこどもの様子などを聞き取りしている。		今後も計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員にも日々の様子を聞き取りして、こどもの最善の利益を考慮した検討を行うしていきたいです。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11	1	必ず職員全員で回覧している。		今後も職員全員で回覧し、児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援を行うように努めます。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	2			施設外での児童の様子(学校や他事業所・ご家庭等)についても共有しています。	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	12		個別支援計画のひな形の各項目の意味を理解し、ねらい及び支援内容も踏まえた計画の作成に努めている。		今後も引き続き、ガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目を適切に設定して、計画の作成に努めます。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	4	その日の利用児童に合わせたプログラムを職員間で相談して考えている。		その日の利用児童に合わせたプログラムを職員間で相談して考えている。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11	1	外部講師の来ない日は職員で様々な企画を考えて盛り上げている。長期休みはより豊富なプログラムを実施。普段も製作、運動、音楽などいろいろな分野の活動がある。		外部講師の来ない日は職員で様々な企画を考えて、長期休みはより豊富なプログラムを実施。普段も製作、運動、音楽などいろいろな分野の活動を提供したいと思いたい。	
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	12		毎日のプログラム活動+専門での個別の療育。		今後も毎日のプログラム活動+専門での個別の療育など個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援を提供させていただきます。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	3		必要に応じて、必ずではない。出勤の有無によっては全員に伝えられていないところもあると思う。	朝礼、昼礼等、打ち合わせの時間を作ることを検討していきたいと思いたい。	
21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	4		必要に応じて、必ずではない。出勤の有無によっては全員に伝えられていないところもあると思う。その日の内というのは難しいところがありますが、朝礼や昼礼にて、前日に気づいた点を共有するように進めています。	その日の内というのは難しいところがありますが、朝礼や昼礼にて、前日に気づいた点を共有するように進めています。		
22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	12	1		できている職員もいるかもしれないが、自分はできていないところがある。	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげるように運用ルールなどを設定していきたいと思いたい。		

関係機関や保護者との連携	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12		定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。		今後も定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行います。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	11			「地域交流の活動」が取り入れにくい状況にあるので、今後の課題。	職員全員への「4つの基本活動」の存在を周知してより良い支援へとつなげていきます。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	12		様々なプログラムについて、参加を促すようにしているが、最終的には子どもの意見を聞くようにする関わり方をしている。		今後も各プログラムなどに参加を促すようにしながらも、子どもの意見に耳を傾け、子どもたちの主体性を持った行動を支援できるように努めます。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12		障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議には基本的に管理者、児童発達支援管理責任者や常勤の職員が参加している。		今後も障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画していきます。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10		特別支援学校などの視察研修など積極的に参加している。		今後も地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制の整備を進めていきたいと思います。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	12		必要に応じて、木もれ日のぬくもりでの様子や支援の内容を共有している。		学校との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会を企画していきたいと思います。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	9	2			今後も必要に応じて、就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有に努めていきたいと思います。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	5		前例がない、木もれ日のぬくもりは小学生までなので。該当者なし。	これまでは障害福祉サービス事業所への移行となる利用者はおられませんでした。必要に応じて連携していきけるようになります。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	4			今後は地域の児童発達支援センターなどとの連携を図っていきけるように努めていきます。
	保護者への説明等	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	4		最近児童センターに行く機会がない。公園利用時の多少の交流くらい。児童館にはいくが交流は少ない。平日は難しいと思いますが、休みの日にはできたら良いなど考えます。
33		（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	4			今後は協議会等への参加を検討していきたいと思います。
34		日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10	2		申し送りノートで、その日の出来事や共有しておくことの申し送りをしている。	出来ている職員とできていない職員がいる。送迎時に必ず事業所での様子を共有。申し送りノート以外にちょっとした出来事を引き継げる方法がほしいと考えます。
35		家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	6			家族支援についての窓口を広げたり、相談援助が可能であることを保護者様に周知し、プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修なども企画していきたいと思います。
36		運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10	1		常勤の職員がきっちり行っている。	今後も役割分担の中で、管理者や常勤の職員がきっちり行っていききたいと思います。
37		放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	12			子どもに対しての関わり方は子どもの気持ちの尊重を最大限考えていると思う。	引き続き、児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を尊重していききたいと思います。
38		「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	12			児童発達支援管理責任者などが計画の説明を、丁寧に行っている。	今後も「放課後等デイサービス計画」を示しながら丁寧な説明を心がけ、保護者様より児童発達支援計画の同意をいただきます。
39		家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10	1		LINEでやり取りできるので、連絡しやすいと言ってもらっている。	今後も気軽に家族等からの子育ての悩み等に対する相談できる流れをつくり、面談や必要な助言と支援を行っていききたいと思います。
40		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		10			父母の会の活動などについて情報を収集したり、保護者様同士が交流できる場の企画を検討していききたいと思います。
41		こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10			対応が必要な案件については、記録を残すようにしている。	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応していききたいと思います。
42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10	1		毎月のプログラムを事前に共有。HPにも記載。	毎月のプログラムを事前に共有させていただいたり、HPにも記載して閲覧いただけるようにしています。	
43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13			個人情報の施設外への持ち出しは原則、禁止としている。	今後も個人情報の取扱いに十分留意していきます。	
44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	12				今後も障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をさせていただきます。	
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	8			今後は近隣の小学校や地域行事等に参加できる機会を作っていきたいと思います。	
46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	12			ドライバーさん含め、職員には全員周知されている。	保護者はわからない。	
47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11			地震や火災など想定して定期的に訓練を実施。	今後も地震や火災などを想定し定期的に訓練を実施させていただきます。	
48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	1			事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の利用者様の個人的な情報については必要に応じて職員全員に共有いたします。	

非常時等の対応	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10		保護者確認で対応。	医師の指示書に基づくというのがよくわからない。調理の時も注意して行っている。	食物アレルギーのある子どもについて、医師による生活管理指導票に基づく対応についてルールなども含めたマニュアルを周知していきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	1	安全計画について職員への周知はしっかりと図られている。		今後も安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練について職員全員に周知します。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10				今後は安全計画について、HPへの記載を検討させていただきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13		職員会議でヒヤリハットの検討を行っている。	ヒヤリハットの報告は職員個人に委ねられているところがある。	今後もヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討を確実に進めていきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	12	1	新入職員への研修や定期的な虐待防止に関する研修を実施している。		今後も虐待を防止するため、職員の研修を定期的なすべての職員に実施します。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10	2	新入職員への研修や定期的な虐待防止に関する研修を実施している。	子どもや保護者への事前の説明が十分になされていないように思わない。	契約時に説明を行っているが、詳細を知らない職員もいたため、資料を職員全員に閲覧してもらおう機会を作るようにいたします。